

# 松原に神社が できて何年？

松原神社は250年、佐嘉神社は90年の節目。次の100年に向けて  
今も「佐賀のお殿様のお宮さん」として親しまれています。

松

原神社(日峯社)は安永元年(1772)の御創建から令和4年(2022)で250年、佐嘉神社は昭和8年(1933)の御創建から令和5年(2023)で90年の節目を迎えました。

「松原(土手)<sup>ひら</sup>」を拓いて日峯社が、次いで佐嘉神社ができ、戦後は宗教法人化という制度改変の波と時勢の混乱により、松原マーケットとともに神社境内も引揚者の生活の場となりました。



佐嘉神社



松原神社

世俗の空間と神域の整理が完了したのは平成25年(2013)のことです。

神社も松原という地域の構成員として、時代と共に変遷を重ねてきました。かつて弘道館が「四方より懸かりよき場所」として松原に置かれたように、神社も拝殿の正面から拝むだけではなく、松原川沿いなど各方面から境内を見通せる、よりオープンな空間とするなど、松原という地域、次の100年という時代と調和する「佐賀のお殿様のお宮さん」として鎮座し続けています。

